

武雄市立東川登小学校 令和8年度 学校便り 第5号



かがやく 東っ子

— 響き合う 東っ子の輝き —



令和8年6月30日
文責 校長 坂本康子



東川登小 HP

学校周辺の田んぼでは水が張られ、青々とした早苗の間からカエルの合唱が賑やかに聞こえてくるようになりました。



さて、先日の大雨では、児童の安全な登校へのご協力、誠にありがとうございました。学校では、特に梅雨明けまでの期間は、大雨や台風に対する防災・減災を徹底し、水難事故等が発生しないように細心の注意を払ってまいります。また、梅雨明け後は、いよいよ本格的な猛暑がやってきます。気象状況に応じた安全確保と体調管理も徹底してまいります。ご家庭でも、朝の健康観察や、多めの水分を持たせるなどのご協力をよろしくお願いいたします。

子どもたちの心に寄り添う「教育相談週間」



先日は「いじめ・体罰に関するアンケート」へのご協力をいただき、ありがとうございました。学校では、すべての子どもたちを対象とした「教育相談週間」を設け、担任が一人一人の児童と一対一でじっくりと面談を行いました。この面談は、子どもたちが日ごろ思っていることや心の中にある小さな不安などを、担任に直接伝える大切な機会です。

面談の中では、アンケートに書かれた内容を丁寧に聴き取るだけでなく、話すときの子どもの表情や仕草からも、気持ちを細やかに汲みとるようにしています。そして、「先生はいつでもあなたの味方だよ」という温かいメッセージを一人一人に直接伝えていきます。

大切なのは、こうした取り組みを一度きりで終わらせず、相談しやすい関係作りの継続を行っていくとだと思います。これからも、子どもたちの安心につながるような日々の何気ない挨拶や声掛けなどの日常的なコミュニケーションを大切にしていきたいと考えております。

※気になることやご心配があらわれる際は、早い段階で遠慮無く学校へご相談ください。

たくさんの「東っ子チャレンジャー」が誕生しています

本校では今年度、子どもたちの「やってみよう!」という挑戦を応援するための取組として「東っ子チャレンジャー賞」を設けております。開始以来、子どもたちはそれぞれに目標を掲げて目を輝かせながら挑戦を続けており、すでにたくさんの「チャレンジャー」が誕生しています。

この取組を通して子どもたちに伸ばしてほしいと願っているのは、「根気強く目標に向かって取り組む力」です。もちろん、目標を達成したり、成功したりすることは素晴らしいことです。しかし、この賞の本当の目的は「結果」だけではありません。

【裏面へつづく】



たとえ失敗したとしても、そこに向けて「全力を尽くすこと」、どうすれば上手くいくかと「取り組む方法を自ら考えること」、そして一人では難しいことも「友達と協力して成し遂げること」—こうしたプロセスにおける貴重な経験こそが、子どもたちの心を大きく豊かに成長させるものと考えます。

今年度は、この挑戦の輪を地域へも広げて、公民館でもこの賞を渡していただくことになっています。子どもたちの「次への一步」を支えるため、保護者、地域の皆様の温かい応援と見守りをよろしくお願いいたします。

※「東っ子チャレンジャー色ぬり大会」を開催しました。

東っ子チャレンジャーの
色ぬり大会
6月2日～6月30日



東川登小学校にも「ミニ・コスモス街道」

今年度は、東川登小学校の校門坂にも「ミニ・コスモス街道」を作ることになりました。現在、鮮やかな色のコスモスの芽が、元気に背丈を伸ばしています。今後、登下校する子どもたちの癒しになってくれればと思います。



☆ 個人面談のお知らせ ☆

7月21日(火)～23日(木)[※23日は予備日]の日程で、個人面談を実施いたします。面談では、新学期が始まってからの学校での様子をお伝えするとともに、ご家庭での様子をうかがい、今後の指導に活かしていきたいと考えております。

お子様の良さをさらに伸ばし、今後のよりよい成長へとつなげるため、有意義な時間にしたと考えております。よろしくお願いいたします。



「これからの学校の話しよう」は、武雄市教育委員会が示す『ひとりひとりをみつめて、学校を次の時代へ進める』ための武雄市学校教育ビジョンです。